

NHK 経営委員会 御中

次期NHK 会長選考にあたり、靱井現会長の再任に絶対反対し、 推薦・公募制の採用を求めます

呼びかけ団体

アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam) / NHK とメディアを語ろう・福島 / NHK 問題大阪連絡会 / NHK 問題京都連絡会 / NHK 問題とメディアを考える茨城の会 / NHK 問題を考える岡山の会 / NHK 問題を考える会・兵庫 NHK 問題を考える会・さいたま / NHK 問題を考える堺の会 / NHK 問題を考える滋賀連絡会 / NHK 問題を考える奈良の会 / NHK を憂える運動センター・京都 / NHK を考える東海の会 / NHK を監視・激励する視聴者コミュニティ / 政府から独立した NHK をめざす広島
の会 / 「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクションセンター (VAWW RAC) / 時を見つめる会 / 放送を語る会 / 靱井さん！NHK 会長やめはったら受信料払います京都の会

来年1月に靱井現会長の任期が満了するのに伴い、貴委員会は目下、次期 NHK 会長の選考を進めておられます。

私たちは、放送法の問題に即して、NHK のジャーナリズム機能と文化的役割について高い見識を持ち、政治権力からの自主・自立を貫ける人物が NHK 会長に選任されることを強く望んでいます。

靱井現会長は、就任以来、「国際放送については政府が右ということ左とは言えない」、「慰安婦問題は政府の方針を見極めないと NHK のスタンスは決まらない」、「原発報道はむやみに不安をあおらないよう、公式発表をベースに」など、NHK をまるで政府の広報機関とみなすかのような暴言を繰り返し、視聴者の厳しい批判を浴びてきました。このような考えを持つ人物は、政府から自立し、不偏不党の精神を貫くべき公共放送のトップにはまったくふさわしくありません。

次期会長選考にあたっては、視聴者の意思を反映させる、透明な手続きの下で、ジャーナリズム精神を備え、政治権力に毅然と対峙できる人物が選任されるよう、貴委員会に対し、以下のことを強く要望いたします。

1. 公共放送のトップとして不適格な靱井現会長を絶対に再任しないこと
2. 放送法とそれに基づく NHK の存在意義を深く理解し、それを実現できる能力・見識のある人物を会長に選考すること
3. 会長選考過程に視聴者・市民の意思を広く反映させるよう、会長候補の推薦・公募制を採用すること。そのための受付窓口を貴委員会内に設置すること

氏 名	住 所

取扱団体：

署名用紙は下記へ郵送ください。

〒134-0083 江戸川中葛西五郵便局局留 視聴者コミュニティ 渡邊 力 宛

(注) インターネット署名はこちら→<https://goo.gl/forms/G43HP83SSgPlcFyO2>(注) この署名運動についてのお問い合わせはメール：kanjin21menso@yahoo.co.jp または、お急ぎの場合は 070-4326-2199 (10時～20時受付)までお願いします。